

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	セルビグループ 冷凍食品工場建	階数	地上2F
建設地	大阪府岸和田市稲葉町	構造	S造
用途地域	市街化区域、防火地域指定なし	平均居住人員	123 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,820 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年2月 予定	評価の実施日	2021年2月1日
敷地面積	8,301 m <sup>2</sup>	作成者	田中 英俊
建築面積	2,343 m <sup>2</sup>	確認日	2021年2月1日
延床面積	4,053 m <sup>2</sup>	確認者	田中 英俊

本図を右クリックし、「図の変更」を選択していただくことで、外観図等を切り付けることができます。

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.5** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

0 46 92 138 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.2

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.4

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.6

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.7

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 2.9

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.1

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
省エネルギー基準をクリアする断熱性能、一次エネルギー消費量性能とする。	特に無し	
<b>Q1 室内環境</b> 内装材に吸音効果のある材を採用する。	<b>Q2 サービス性能</b> リフレッシュスペースを設ける。 各種設備の配管は耐用年数の高い材質を採用する。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 建物周囲に緑地を設け、温熱環境の向上を図る。
<b>LR1 エネルギー</b> 環境負荷に配慮し、断熱性能の良い窓、効率の良い照明を採用する。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> LGS工法にり、躯体と仕上材が容易に分別可能。 節水器具(便器、水栓)を採用する。	<b>LR3 敷地外環境</b> 省エネルギー基準クリアにより、地球温暖化へ配慮する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R2-0128

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	セルビスグループ 冷凍食品工場建設工事					
	建設地	大阪府岸和田市稲葉町					
	用途/区分	工場 事務所					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B-	
①	CO2削減					3	
②	みどり・ヒート アイランド対策					2	
③	建物の断熱性					4	
④	エネルギー削減					3	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

	エネルギー消費量の報告	報告しない
--	-------------	-------

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.4	3
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	4.2	4
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	2.8	3
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

【その他】		
	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		